

令和 6 年 度

蓮 田 白 岡 衛 生 組 合  
一般会計歳入歳出決算審査意見書  
及び行政監査結果報告書

蓮田白岡衛生組合監査委員

写

監 第 号  
令和 7 年 9 月 8 日

蓮田白岡衛生組合  
管理者 山口京子 様

蓮田白岡衛生組合監査委員 小林 猛

蓮田白岡衛生組合監査委員 齋藤 信治

令和 6 年度蓮田白岡衛生組合決算審査意見書について（提出）

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により監査委員の審査に付された、令和 6 年度蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算について審査したので、意見書を提出します。

写

監 第 号  
令和 7 年 9 月 8 日

蓮田白岡衛生組合  
管理者 山 口 京 子 様  
蓮田白岡衛生組合議会  
議 長 黒 須 大 一 郎 様  
蓮田白岡衛生組合公平委員会  
委員長 金 子 勇 二 様

蓮田白岡衛生組合監査委員 小 林 猛

蓮田白岡衛生組合監査委員 齋 藤 信 治

令和 7 年度蓮田白岡衛生組合行政監査結果報告書について（提出）  
地方自治法第 1 9 9 条第 2 項の規定による行政監査を実施したので、結果報告書  
を提出します。  
なお、この行政監査は、決算審査と併せて実施したものです。

# 目 次

## 一般会計歳入歳出決算審査意見書及び行政監査結果報告書

第 1	審査の対象	-----	2
第 2	審査の期日	-----	2
第 3	審査の方法	-----	2
第 4	審査の結果	-----	2
第 5	決算の概要	-----	2
第 6	歳入決算額の状況	-----	4
第 7	歳出決算額の状況	-----	1 0
第 8	財産に関する調書	-----	1 4
第 9	むすび	-----	1 5

### 【凡 例】

- 1 文中及び表中の計数は、原則として表示単位未満を四捨五入により端数処理した関係上、差額又は合計金額が一致しない場合がある。四捨五入の結果「0」と表記されている数字もある。
- 2 比率「%」は、表示単位未満を四捨五入した。このため、計数が一致しない場合がある。
- 3 表中の「△」印は、マイナスを表すものとした。
- 4 文章中、「皆増」は前年度に数値がなく当年度に発生したものである。また、「皆減」は前年度に数値があり当年度に発生しなかったものである。

一般会計歳入歳出決算審査意見書  
及び行政監査結果報告書

## 第1 審査の対象

令和6年度蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算

## 第2 審査の期日

令和7年8月22日（金）

## 第3 審査の方法

審査に当たっては、令和7年7月25日に管理者から審査に付された令和6年度の蓮田白岡衛生組合一般会計歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書に基づき、各計数の正確性を確認するとともに、関係法令に準拠して作成されているか確認した。

また、蓮田白岡衛生組合監査基準に基づき、予算の執行状況が関係法令に適合し、経済的、効率的かつ効果的に事業が執行されているか、慎重に審査した。

なお、各課（室）から提出された令和6年度決算審査に係る業務等報告書、主要事業報告書、歳入歳出決算資料及び契約に関する資料等に基づき、総合的に会計管理者及び事務局長から業務及び決算状況についての説明を受けた後、各所属長から歳入歳出決算等について説明を求め審査を行った。また、疑問点等については、追加資料の提出を求め確認した。

工事等の審査は、北門拡幅等工事及びし尿処理施設精密機能検査業務委託について、施工（着手）から完了（完成）、検査に係る関係書類一式の書類審査を行い、その後、北門拡幅等工事について現地確認を実施した。

## 第4 審査の結果

令和6年度の一般会計歳入歳出決算書、事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書はいずれも関係法規に準拠して作成されており、各計数は適正なものとして認められた。

## 第5 決算の概要

### 1 総括

#### （1）全体の収支

令和6年度一般会計の歳入歳出予算現額は1,994,839,000円である。

歳入決算額は2,000,096,221円（予算現額に対する割合100.3%）で、歳出決算額は1,894,810,210円（予算現額に対する割合95.0%）で、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支額は105,286,011円となり、翌年度へ繰り越すべき財源51,820,000円を差し引いた実質収支額は53,466,011円の黒字である。

また、実質収支額から、前年度の実質収支額108,750,358円を差し引いた単年度収支額は、55,284,347円の赤字である。

歳入決算額を前年度と比較すると、19,260,971円（1.0%）の減少、歳出決算額は、27,418,376円（1.5%）の増加となった。

## (2) 歳入歳出決算の概要

(単位：千円)

区 分	当年度 A	前年度 B	比較増減	
			増減 A - B	率 (%)
予 算 現 額	1,994,839	2,023,799	△28,960	△1.4
歳 入 決 算 額	2,000,096	2,019,357	△19,261	△1.0
歳 出 決 算 額	1,894,810	1,867,392	27,418	1.5
差 引 残 額	105,286	151,965	△46,679	△30.7
翌年度 へ繰り 越すべ き財源	(1) 継続費下次 繰越額	0	0	—
	(2) 繰越明許費 繰越額	51,820	43,215	8,605
	(3) 事故繰越し 繰越額	0	0	—
実 質 収 支 額	53,466	108,750	△55,284	△50.8

※実質収支額＝歳入決算額－歳出決算額－翌年度へ繰り越すべき財源

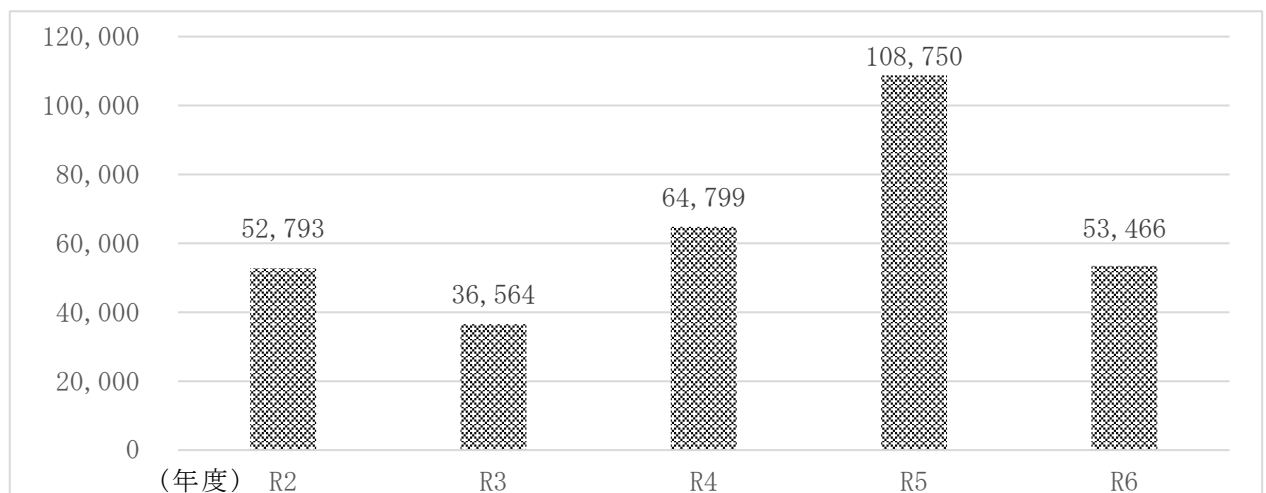
## (3) 財政規模の年度別推移

(単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算現額	1,761,413	1,834,602	1,960,243	2,023,799	1,994,839
歳入決算額	1,775,694	1,841,464	1,968,561	2,019,357	2,000,096
歳出決算額	1,721,438	1,740,048	1,807,246	1,867,392	1,894,810
差引残額	54,256	101,416	161,315	151,965	105,286
翌年度へ繰り 越すべき財源	1,463	64,853	96,516	43,215	51,820
実質収支額	52,793	36,564	64,799	108,750	53,466

## (4) 財政規模の年度別実質収支額の推移

(単位：千円)



## 第6 歳入決算額の状況

歳入決算額は、2,000,096千円（前年度対比△19,261千円、1.0%減）である。前年度に対して増加となった科目は、次のとおりである。

2 款 使用料及び手数料	404,027千円	（前年度対比 39,901千円、11.0%増）
3 款 財産収入	116,094千円	（前年度対比 6,147千円、5.6%増）
6 款 諸収入	4,807千円	（前年度対比 3,167千円、193.1%増）

前年度に対して減少となった科目は、次のとおりである。

1 款 分担金及び負担金	1,304,503千円	（前年度対比 △52,626千円、△3.9%）
5 款 繰越金	151,965千円	（前年度対比 △9,350千円、△5.8%）
7 款 組合債	18,700千円	（前年度対比 △6,500千円、△25.8%）

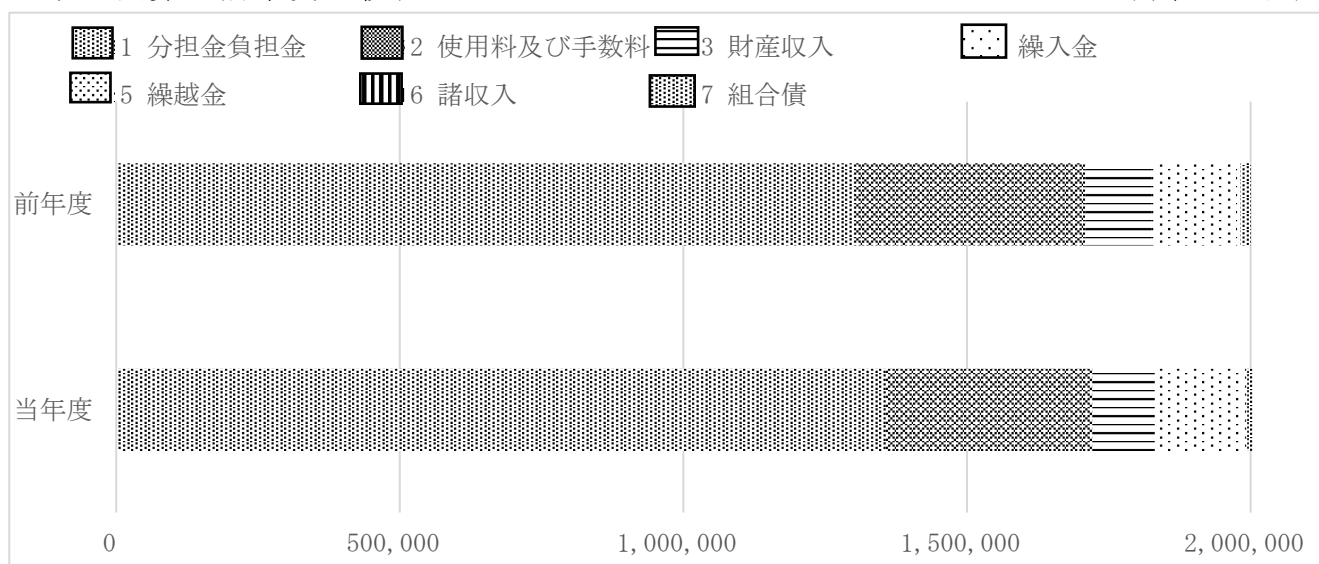
### ○歳入決算の状況

（単位：千円）

款	当初 予算額	予算現額	収 入 済 額					
			当年度	収入率（%）		前年度	増減	増減率 （%）
				対当初 予算	対予算 現額			
1 分担金及び負担金	1,444,694	1,305,059	1,304,503	90.3	100.0	1,357,129	△52,626	△3.9
2 使用料及び手数料	394,994	407,869	404,027	102.3	99.1	364,126	39,901	11.0
3 財産収入	82,307	105,678	116,094	141.0	109.9	109,947	6,147	5.6
4 繰入金	1	1	0	0	0	0	0	—
5 繰越金	20,000	151,965	151,965	759.8	100.0	161,315	△9,350	△5.8
6 諸収入	1,447	5,567	4,807	332.2	86.3	1,640	3,167	193.1
7 組合債	0	18,700	18,700	—	100.0	25,200	△6,500	△25.8
合 計	1,943,443	1,994,839	2,000,096	102.9	100.3	2,019,357	△19,261	△1.0

### 歳入決算の前年度比較表

（単位：千円）



## 1 款 分担金及び負担金

歳入決算総額に対する構成比率は 65.2% であり、前年度と比較すると 52,626 千円 (△3.9%) の減少となった。

このうち、分担金は、1,200,003 千円で前年度対比 69,626 千円 (△5.5%) の減少となり、負担金は、104,500 千円で前年度対比 17,000 千円 (19.4%) の増加となった。

この主な要因は、分担金においては、搬入ごみ手数料の改定やアルミ、ペットボトル及び古紙類等の売却単価の上昇により、歳入が増額となったことにより、両市の分担金が減少したものである。

また、負担金においては、蓮田市及び白岡市の世帯数の増加によるもののほか、伊奈町クリーンセンター基幹的設備改良工事に伴うごみの受入れを実施したことによるものである。

(単位：千円)

項	当初予算額	予算現額	収入済額					
			当年度	収入率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初予算	対予算現額			
1 分担金	1,334,303	1,200,003	1,200,003	89.9	100.0	1,269,629	△69,626	△5.5
2 負担金	110,391	105,056	104,500	94.7	99.5	87,500	17,000	19.4
合計	1,444,694	1,305,059	1,304,503	90.3	100.0	1,357,129	△52,626	△3.9

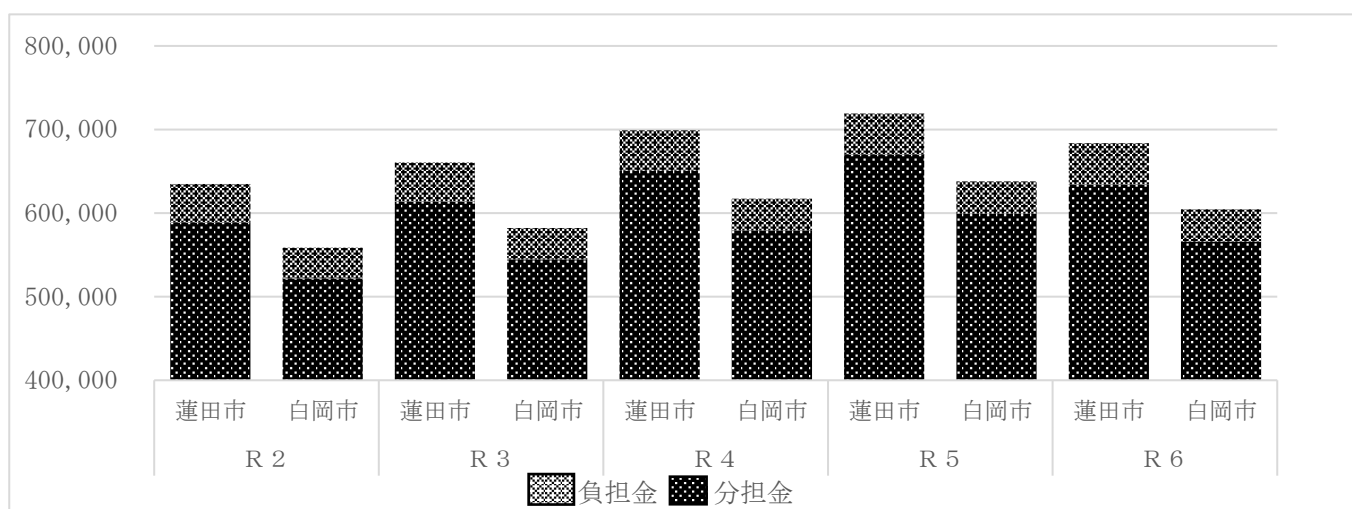
## 分担金及び負担金の増減推移

(単位：千円)

		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
蓮田市	分担金	588,798	613,807	650,726	670,172	634,301
	負担金	46,031	46,700	46,971	47,534	47,972
	全戸配布負担金	—	—	1,328	1,462	1,472
白岡市	分担金	521,809	544,723	579,218	599,457	565,702
	負担金	36,818	37,491	38,078	38,504	38,850
伊奈町	負担金	—	—	—	—	16,206

## 分担金及び負担金の年度別推移

(単位：千円)



## 2 款 使用料及び手数料

歳入決算総額に対する構成比率は 20.2% であり、前年度と比較すると 39,901 千円 (11.0%) の増加となった。

この主な要因は、令和 6 年 7 月に、一般廃棄物と産業廃棄物を持ち込む際の搬入ごみ手数料の改定等を行ったことによるものである。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	収入済額					
			当年度	収入率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 使用料	65	73	78	120.0	106.8	68	10	14.7
2 手数料	394,929	407,796	403,949	102.3	99.1	364,057	39,892	11.0
合 計	394,994	407,869	404,027	102.3	99.1	364,126	39,901	11.0

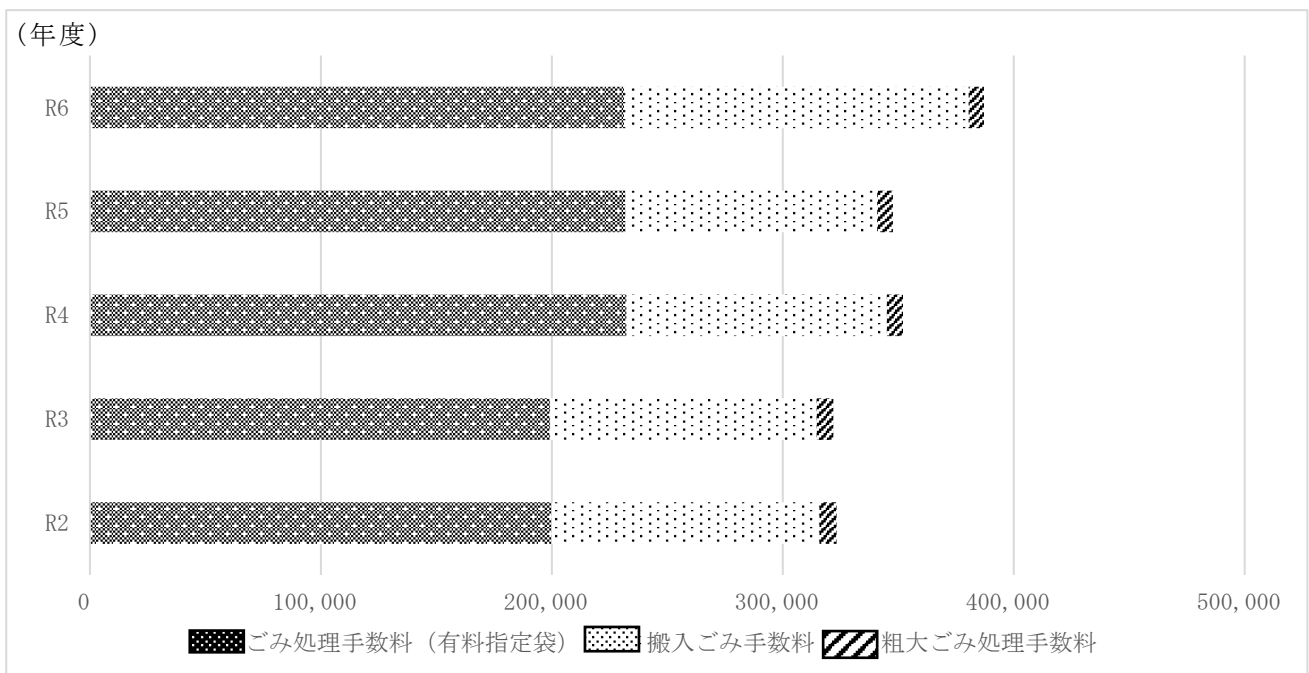
### 主な手数料の増減推移

(単位：千円)

		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
ごみ 手 数 料	ごみ処理手数料 (有料指定袋)	199,863	199,321	232,392	231,906	231,271
	搬入ごみ手数料	116,013	115,290	112,666	108,985	149,203
	粗大ごみ処理 手数料	7,400	7,268	6,978	6,802	6,633

### 主な手数料収入の年度別推移

(単位：千円)



### 3 款 財産収入

歳入決算総額に対する構成比率は 5.8% であり、前年度と比較すると 6,147 千円 (5.6%) の増加となった。

このうち、財産売却収入は 115,781 千円で前年度対比 5,835 千円 (5.3%) の増加となった。

この主な要因は、売却単価が上昇したことにより、鉄・アルミ売却が前年度対比 646 千円 (1.1%)、ペットボトル売却が前年度対比 2,464 千円 (14.2%)、古紙類売却が前年度対比 1,860 千円 (6.3%) とそれぞれ増加となったことによるものである。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	収入済額					
			当年度	収入率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 財産運用収入	1	312	312	31,200.0	100.0	0	312	皆増
2 財産売却収入	82,306	105,366	115,781	140.7	109.9	109,946	5,835	5.3
合 計	82,307	105,678	116,094	141.0	109.9	109,947	6,147	5.6

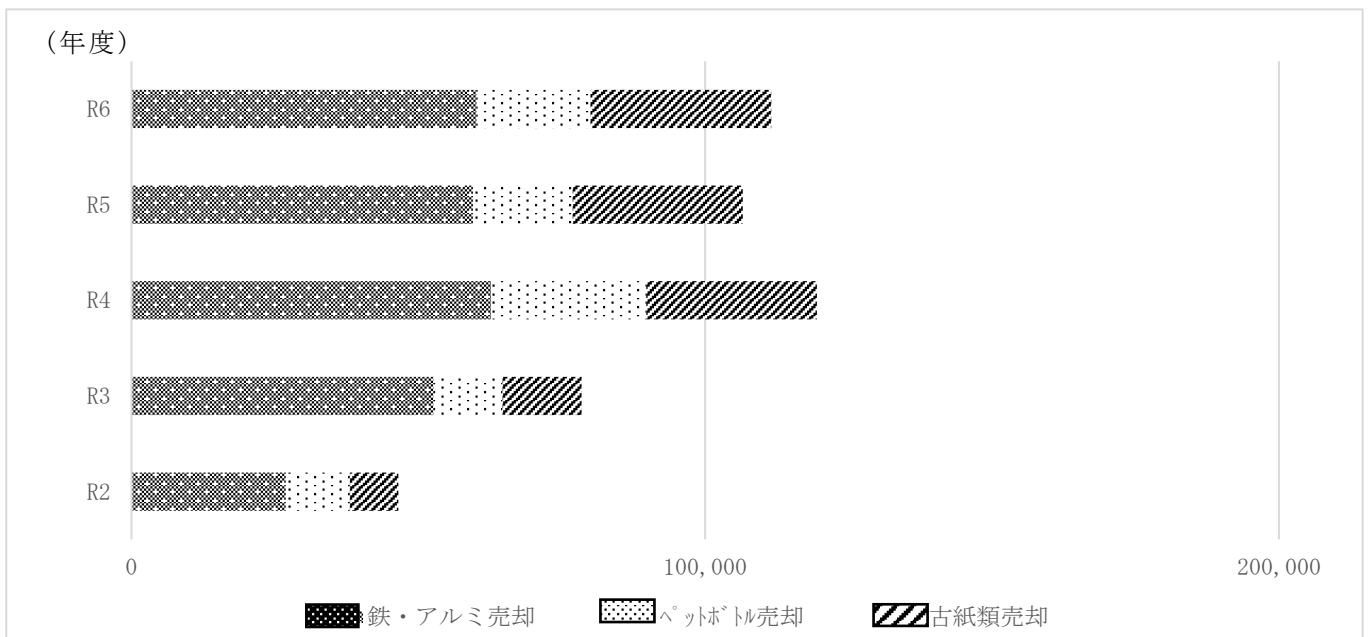
#### 主な財産収入の増減推移

(単位：千円)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
鉄・アルミ売却	26,896	52,639	62,664	59,508	60,154
ペットボトル売却	11,159	12,041	27,056	17,375	19,839
古紙類売却	8,462	13,779	29,734	29,662	31,522

#### 主な売却した財産収入の年度別推移

(単位：千円)



## 5 款 繰越金

歳入決算総額に対する構成比率は 7.6%であり、繰越明許費繰越金等により、前年度と比較して 9,350 千円 (△5.8%) の減少となった。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	収入済額					
			当年度	収入率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 繰越金	20,000	151,965	151,965	759.8	100.0	161,315	△9,350	△5.8

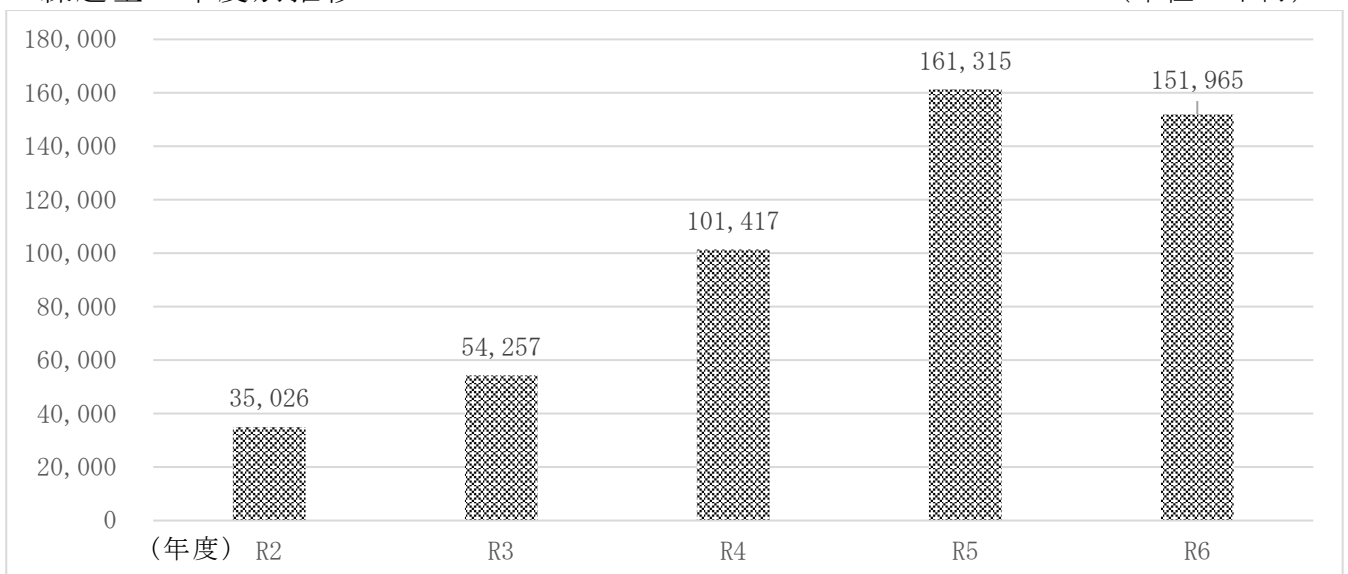
### 繰越金の増減推移

(単位：千円)

(年度)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
繰越金	35,026	54,257	101,417	161,315	151,965

### 繰越金の年度別推移

(単位：千円)



## 6 款 諸収入

歳入決算総額に対する構成比率は 0.3%であり、前年度と比較すると 3,167 千円 (193.1%) の増加となった。これは、令和 6 年 8 月に発生した計量器の落雷被害による災害共済金が 2,858 千円の増額になったことなどによるものである。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	収入済額					
			当年度	収入率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 預金利子	1	189	189	18900.0	100.0	0	189	皆増
2 雑入	1,446	5,378	4,618	319.4	85.9	1,640	2,978	181.6
合 計	1,447	5,567	4,807	332.2	86.3	1,640	3,167	193.1

## 7 款 組合債

歳入決算総額に対する構成比率は 0.9% であり、前年度と比較すると 6,500 千円 (△25.8%) の減少となった。これは、ごみ焼却施設のクレーン補修工事が前年度から繰り越した事業であるため、減少となったものである。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	収入済額					
			当年度	収入率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 組合債	0	18,700	—	18700.0	100.0	25,200	△6,500	△25.8

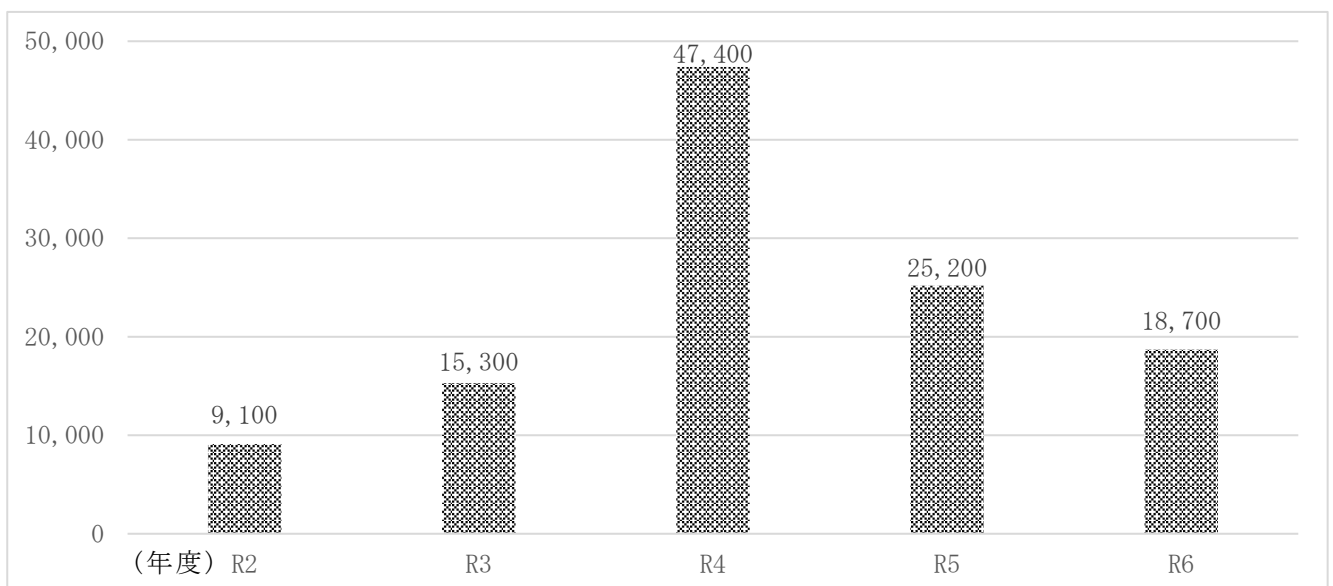
### 組合債の増減推移

(単位：千円)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
組合債	9,100	15,300	47,400	25,200	18,700

### 組合債の年度別推移

(単位：千円)



## 第7 歳出決算額の状況

歳出決算額は1,894,810千円（前年度対比27,418千円、1.5%増）である。  
前年度に対して増加となった科目は、次のとおりである。

- 1 款 議会費 2,153千円（前年度対比 762千円、54.8%増）
- 3 款 衛生費 1,382,496千円（前年度対比 23,032千円、1.7%増）
- 4 款 公債費 161,836千円（前年度対比 3,949千円、2.5%増）

前年度に対して減少となった科目は、次のとおりである。

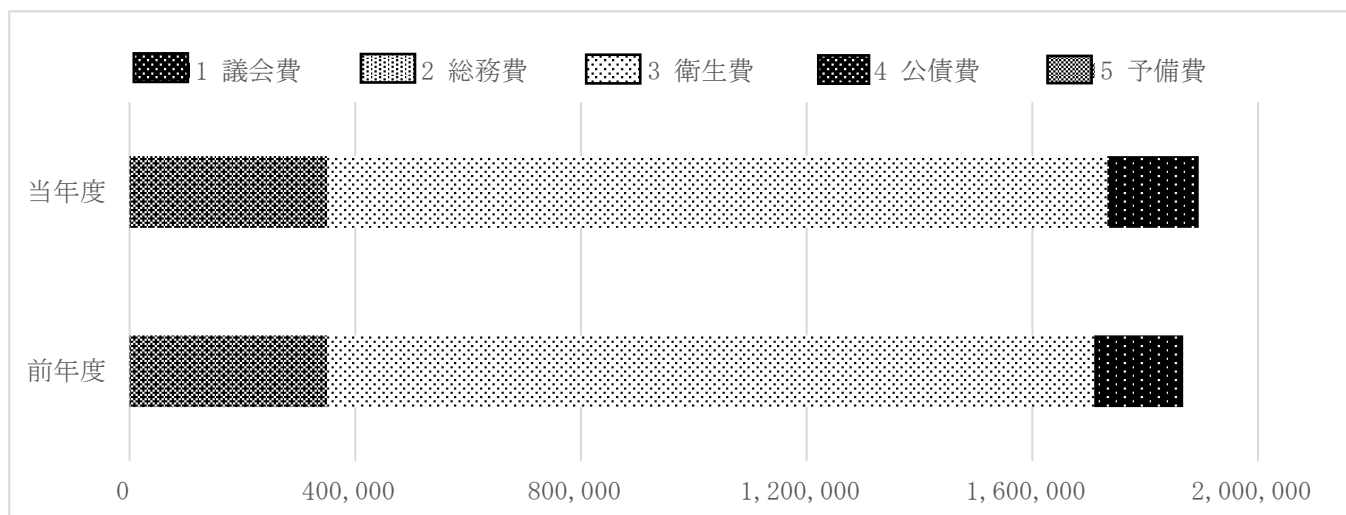
- 2 款 総務費 348,325千円（前年度対比△325千円、0.1%減）

（単位：千円）

款	当初 予算額	予算現額	支出済額					
			当年度	執行率（%）		前年度	増減	増減率 （%）
				対当初 予算	対予算 現額			
1 議会費	2,918	2,186	2,153	73.8	98.5	1,391	762	54.8
2 総務費	321,452	366,239	348,325	108.4	95.1	348,650	△325	△0.1
3 衛生費	1,449,937	1,459,412	1,382,496	95.3	94.7	1,359,464	23,032	1.7
4 公債費	164,136	162,002	161,836	98.6	99.9	157,887	3,949	2.5
5 予備費	5,000	5,000	0	0	0	0	0	—
歳出合計	1,943,443	1,994,839	1,894,810	97.5	95.0	1,867,392	27,418	1.5

歳出決算の年度別比較表

（単位：千円）



### 1 性質別歳出決算

経常的経費の決算額は、1,521,473千円（前年度対比89,906千円、6.3%増）で、投資的経費の決算額は、169,189千円（前年度対比△53,749千円、24.1%減）、その他の経費（公債費及び積立金）は、204,148千円（前年度対比△8,739千円、4.1%減）となっている。

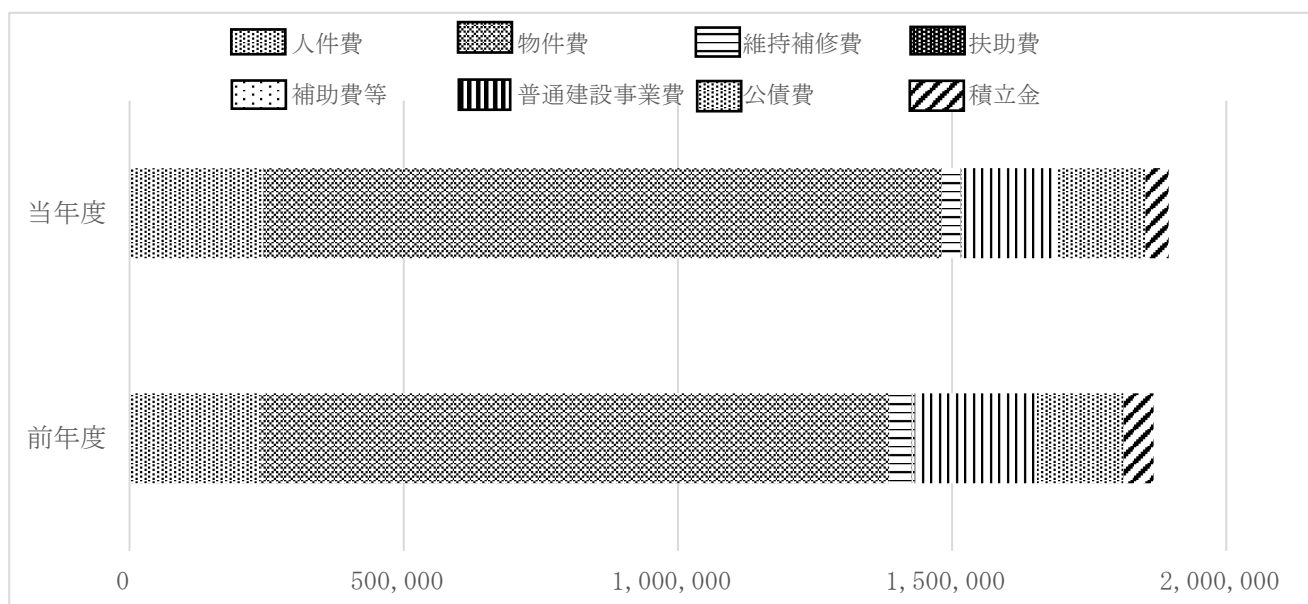
#### 性質別歳出決算状況

（単位：千円）

区 分		当年度		前年度		比較増減	
		決算額	構成比 (%)	決算額	構成比 (%)	決算額	率 (%)
経常的 経 費	人 件 費	243,121	12.8	238,536	12.8	4,585	1.9
	物 件 費	1,238,005	65.4	1,147,055	61.4	90,950	7.9
	維持補修費	33,946	1.8	40,049	2.1	△6,103	△15.2
	扶 助 費	2,480	0.1	1,985	0.1	495	24.9
	補助費等	3,921	0.2	3,942	0.2	△21	△0.5
	計	1,521,473	80.3	1,431,567	76.6	89,906	6.3
投資的 経 費	普通建設事業費	169,189	8.9	222,938	11.9	△53,749	△24.1
	計	169,189	8.9	222,938	11.9	△53,749	△24.1
その他 の経費	公 債 費	161,836	8.6	157,887	8.5	3,949	2.5
	積 立 金	42,312	2.2	55,000	3.0	△12,688	△23.1
	計	204,148	10.8	212,887	11.5	△8,739	△4.1
歳 出 合 計		1,894,810	100.0	1,867,392	100.0	27,418	1.5

#### 性質別歳出決算の前年度比較表

（単位：千円）



## 2 款別の主な増減の理由

### 1 款 議 会 費

予算現額 2,186 千円に対して決算額は 2,152,678 円であり、歳出総額に対する構成比率は 0.1%で、宿泊による議会視察研修を実施したことにより、前年度と比較して 762 千円（54.8%）の増加となった。

（単位：千円）

項	当初 予算額	予算 現額	支出済額					
			当年度	執行率（%）		前年度	増減	増減率 （%）
				対当初 予算	対予算 現額			
1 議会費	2,918	2,186	2,153	73.8	98.5	1,391	762	54.8

### 2 款 総 務 費

予算現額 366,239 千円に対して決算額は 348,325 千円であり、歳出総額に対する構成比率は 18.4%で、前年度と比較して 325 千円（△0.1%）の減少となった。

減少となった主なものは、測量設計業務委託費 1,045 千円（皆減）、電話交換機交換工事 3,025 千円（皆減）などである。

一方、増加となったものは、環境センター場内整備工事（北門拡幅等工事、ストックヤードフェンス移設工事）13,562 千円（皆増）などである。

（単位：千円）

項	当初 予算額	予算 現額	支出済額					
			当年度	執行率（%）		前年度	増減	増減率 （%）
				対当初 予算	対予算 現額			
1 総務管理費	321,244	366,031	348,118	108.4	95.1	348,448	△330	△0.1
2 監査委員費	208	208	207	99.5	99.5	202	5	2.5
合 計	321,452	366,239	348,325	108.4	95.1	348,650	△325	△0.1

### 3 款 衛 生 費

予算現額 1,459,412 千円に対して決算額は 1,382,496 千円であり、歳出総額に対する構成比率は 73.0%で、前年度と比較して 23,032 千円（1.7%）の増加となった。

その内訳としては、清掃総務費が 69,271 千円（17.9%）、し尿処理費が 4,842 千円（5.3%）、リサイクル促進費が 239 千円（6.5%）の増加、じん芥処理費が 51,321 千円（△5.8%）の減少となっている。

増加となった主なものは、再生エネルギー賦課金の上昇等による光熱水費（電気料金）35,430 千円、令和 6 年度から契約更新となり作業員が増員となった施設維持管理運転業務委託費 36,818 千円、世帯数の増加に伴う燃えるごみ等収集業務委託費 4,743 千円、ごみ処理施設の長寿命化を計るための長寿命化計画策定業務委託費 9,449 千円、一軸破砕機用搬送コンベヤの整備のための一軸破砕機用搬送コンベヤ等交換工事 6,270 千円、汚泥の処分方法がリサイクルから焼却に変更となったことによる脱水汚泥処分業務委託費 12,715 千円である。

一方、減少となった主なものは、清掃総務費の計量器システム改修業務委託費 1,463 千円、じん芥処理費の施設整備基本構想策定業務委託費 10,250 千円、建屋健全度調査業務委託費 7,916 千円、土壌分析調査業務委託費 1,257 千円である。

また、主な工事として、クレーン補修工事 31,900 千円を行った。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	支出済額					
			当年度	執行率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 清掃費	1,449,937	1,459,412	1,382,496	95.3	94.7	1,359,464	23,032	1.7

#### 清掃費の目別内訳

(単位：千円)

目	当初予算額	予算現額	支出済額			
			当年度	前年度	増減	増減率 (%)
1 清掃総務費	498,303	474,400	456,371	387,100	69,271	17.9
2 じん芥処理費	846,294	877,427	826,470	877,791	△51,321	△5.8
3 し尿処理費	100,917	103,066	95,752	90,910	4,842	5.3
4 リサイクル 促進費	4,423	4,519	3,902	3,663	239	6.5
合 計	1,449,937	1,459,412	1,382,496	1,359,464	23,032	1.7

#### 4 款 公 債 費

予算現額 162,002 千円に対して決算額は 161,836 千円であり、歳出総額に対する構成比率は 8.5%で、前年度と比較して 3,949 千円 (2.5%) の増加となった。これは、令和 5 年度に借入れた燃焼ストーカプッシュロッド交換工事等の元金の償還が開始されたことによるものである。

(単位：千円)

項	当初 予算額	予算 現額	支出済額					
			当年度	執行率 (%)		前年度	増減	増減率 (%)
				対当初 予算	対予算 現額			
1 元金	161,846	159,932	159,932	98.8	100.0	155,606	4,326	2.8
2 利子	2,290	2,070	1,905	83.2	92.0	2,280	△375	△16.4
合 計	164,136	162,002	161,836	98.6	99.9	157,887	3,949	2.5

地方債元金償還金及び地方債利子の増減推移

(単位：千円)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
元 金	169,457	142,035	144,521	155,606	159,932
利 子	3,649	3,154	2,706	2,280	1,905

第8 財産に関する調書 (決算書26頁から29頁記載のとおり)

1 公有財産

(1) 土地及び建物

前年度からの増減なし

2 物 品

リース期間が終了したミニローダーを購入したことから増となった。

3 基 金

(1) 施設整備基金の状況

42,312,475円の積立を行い、年度末現在高は、次表のとおりである。

(単位：円)

区分	前年度末現在高	決算年度中増減高		決算年度末現在高
現金	430,787,732	42,312,475		473,100,207
		積立額	取崩額	
		42,312,475	0	

(単位：円)

年 度	当該年度積立額 (運用利子含む)	施設整備 基金残高
平成25年度	25,009,500	25,009,500
平成26年度	40,033,247	65,042,747
平成27年度	55,086,687	120,129,434
平成28年度	40,042,837	160,172,271
平成29年度	47,399	160,219,670
平成30年度	5,026,622	165,246,292
令和元年度	60,037,648	225,283,940
令和2年度	55,501,878	280,785,818
令和3年度	68,001,258	348,787,076
令和4年度	27,000,368	375,787,444
令和5年度	55,000,288	430,787,732
令和6年度	42,312,475	473,100,207

公有財産、物品及び基金の管理及び運営等は、それぞれ目的に基づいて適正に管理されていた。

## 第9 　むすび

審査の結果については、「第4 　審査の結果」に記載したとおりであるが、審査の結果を踏まえ、次のとおり提言要望し、一般会計決算審査及び行政監査のむすびとする。

### 提言・要望事項

#### 1 　計画的な予算執行について

令和5年度の一般会計歳入歳出決算審査意見書において指摘した不用額の縮減については、前年度の94,492千円から48,208千円と、大幅に減少したところである。

一方で、個別の事業について執行状況を詳細に見ると、消耗品費、委託料及び工事請負費などについては更に縮減が可能と思われる事業も散見された。

不用額の発生には、契約落差や故障等不測の事態への備えなど、相応の理由があるとは思慮するが、財源の効率的活用のために、引き続き不用額の縮減に努められたい。

#### 2 　予算書等印刷物の作成部数の見直しについて

予算書や決算書などの印刷物の作成に当たって、これまでの例を踏襲し、実際の配布部数よりも多めに印刷している傾向が見受けられた。

今後の印刷物の作成に際しては、慣例にとらわれることなく、配布先の見直しや電子媒体等への変更を行うなど、必要部数を十分に精査し必要最小限の印刷に努められたい。

#### 3 　資金運用について

令和6年度に、これまで実施していた施設整備基金の運用のほか、預金口座を決済用から普通預金口座へ種別変更するなどして計画的な資金運用を図り、預金利子及び運用利子として501千円の収入を得たことは評価に値する。

今後においても、資金の安全性及び効率性の確保に配慮した資金計画の策定を進め、的確な資金運用に努められたい。